



2020年10月1日

各位

会社名 九州電力株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 池辺 和弘
(コード：9508 東証第一部、福証)
問合せ先 原子力発電本部 原子力企画グループ長 竹添 卓英
TEL. (092)761-3031

川内原子力発電所1，2号機特定重大事故等対処施設 設置工事に関するお知らせ（工期の短縮）

当社は、2019年10月31日に行った同件名でのお知らせにおいて、工期に関して1号機は2020年12月、2号機は2021年1月に使用開始予定であること等を開示しておりましたが、今回、使用開始予定を1号機は2020年11月、2号機は2020年12月に短縮できる見通しとなりましたので、お知らせします。

記

1. 工期短縮の内容

	変更前	変更後
1号機	2020年12月に使用開始予定	2020年11月に使用開始予定
2号機	2021年1月に使用開始予定	2020年12月に使用開始予定

特定重大事故等対処施設の完成後、発電所の起動準備を経て、発電を再開します。

※ 特定重大事故等対処施設の設置期限 1号機：2020年3月17日
2号機：2020年5月21日

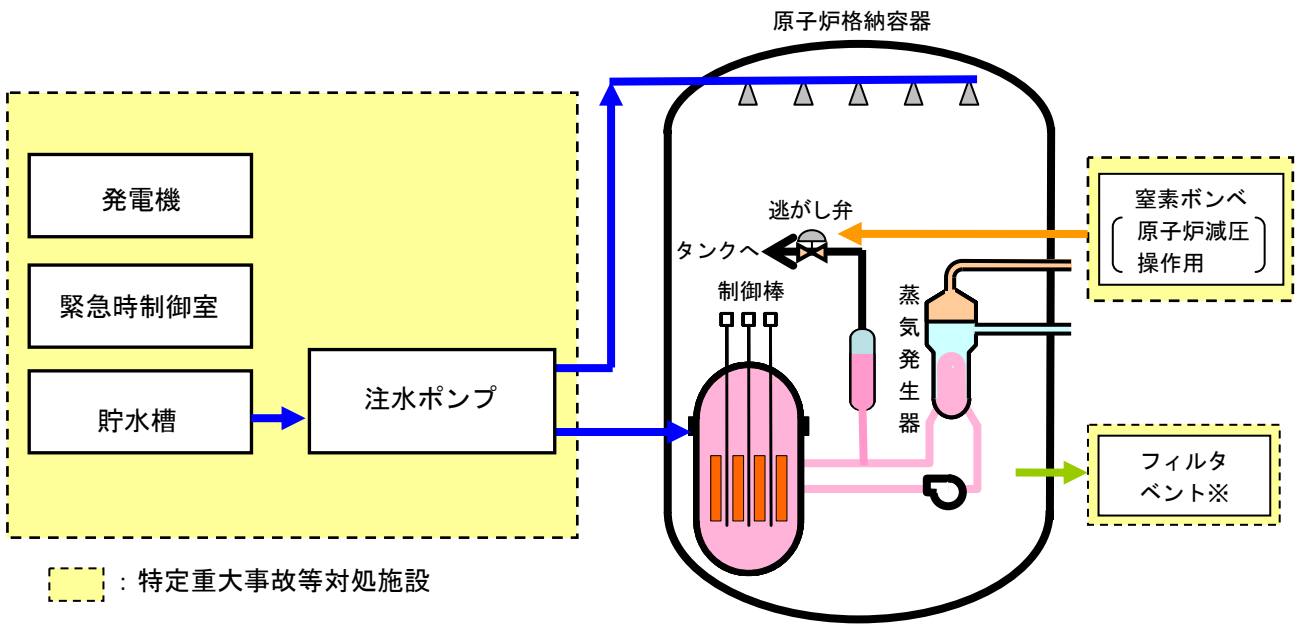
(参考)

- 特定重大事故等対処施設設置工事（1号炉及び2号炉）の理由
「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第43条の3の6第1項第4号の規定に基づき、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」第42条で設置を定められているため。
- 特定重大事故等対処施設設置工事（1号炉及び2号炉）の内容
 - (1) 所在地：鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
 - (2) 固定資産の取得価額：約2,420億円
 - (3) 施設概要：(別紙参照)
 - ①貯水槽及び注水ポンプ
 - ②フィルタベント
 - ③窒素ボンベ（原子炉減圧操作用）
 - ④発電機
 - ⑤緊急時制御室

2. 今後の見通し

今後も、計画通り完成できるよう、設置工事に取り組んでいきます。
なお、業績への影響等、開示すべき事項が判明した場合は、速やかにお知らせいたします。

以上



特定重大事故等対処施設の概要図

※フィルタベント

原子炉格納容器内の圧力が異常に上昇した場合、原子炉格納容器の損傷を防止するため、その内部の蒸気を放出（ベント）し、圧力を低減するとともに、大気中に放出される放射性物質を低減させる装置